

社会とつながり、  
心豊かに



# 女性大学

— 令和6年度 第2期 えるのす連続講座 —

開催  
報告

10/1  
(火)



真夏の蒸し暑さから解放され、少しずつ秋の訪れを感じる10月1日、令和6年度第2期えるのす連続講座～女性大学～が開講しました。第1講目は北海道科学大学地域共育センター副センター長の木本晃さんをお迎えし、「観光で、北海道の未来を拓く」というテーマでお話しいただきました。今、木本さんが大学で取り組まれているのは「いずれは地元に戻り、地元を元気にしたい!」という学生を増やす仕組みづくり。女性大学でも、北海道を元気にする「うれしい観光」をキーワードに道民、観光客、企業などにとって、それぞれの視点でお話しを伺いました。実例もいくつかご紹介いただいたことでワクワクする仕掛けを知るきっかけとなり学びに繋がりました。

10/8  
(火)



第2講目は”芸術の秋”に相応しい「西洋近代美術の楽しみ方」をテーマに札幌大谷大学芸術学部教授の下濱晶子さんをお招きしました。美術の魅力を沢山のの人に伝えるのがミッションだという下濱さん。講義では、近代西洋美術の中でも馴染み深い「印象派」について取り上げ、その時代背景から画家・作品への影響、ジャポニズムについてお話しいただきました。所要所でクイズも出題していただきながら楽しく学びを深め、美術の枠に留まらずに「西洋と日本」「絵画と音楽・ファッション」という幅広い芸術の楽しみ方について知ることができました。

10/15  
(火)



第3講目は藤女子大学文学部教授の山本綾子さんをお招きして「江戸怪談のヒロインたち—お菊さんとお岩さん—」と題して夏の余韻を楽しみました。「夏=怪談」というイメージは江戸時代のあたりにはすでに出来上がっていたようで、それが現代まで継承されていることに驚きました。その当時、有名な怪談のヒロインだったお菊さんとお岩さん。様々な作品による二人の描かれ方の変化を時代背景とともに解説していただくことで、現代まで形を変えながら語られ続けてきたという怪談の奥深さを知りました。

10/22  
(火)



第4講目では、今まさに旬なキーワードでもある「半導体とはなにか～現代の魔法～」と題して、北海道大学半導体拠点形成推進本部・総長補佐の葛西誠也さんにお話しいただきました。スマートフォンを始め、私たちの生活の中で使われる身近な電子機器の大半には半導体が内蔵されています。多くのモノ・サービスがネットに繋がり、コンピューターで制御されているため、半導体がなければ今や私たちの暮らしは成り立ちません。未来を変える大きな力を秘めた最先端半導体について学ぶことができ、未来への期待が高まりました。

10/29  
(火)



第5講目は「知里幸恵の思いを継いで」をテーマに、登別市にある知里幸恵 銀のしずく記念館の館長でいらっしゃる木原仁美さんにお話しいただきました。今は東京在住で、この日のために来札して下さった木原さん。講義ではムックリの演奏やアイヌ神謡集の朗読を交え、幸恵の生涯や、アイヌ神謡集の執筆に込めた願いについて、初代館長である母、横山むつみさんから引き継いだ思いを語っていただきました。若くして世界した知里幸恵の願いに思いを馳せる2時間でした。

主催 公益財団法人 北海道女性協会  
後援 北海道・札幌市

社会とつながり、  
心豊かに



# 女性大学

— 令和6年度 第2期 えるのす連続講座 —

開催  
報告

11/5  
(火)



第6講目は北海道総合研究調査会（HIT）理事長の五十嵐智嘉子さんをお招きして「人口減少戦略—少子化対策と働き方改革・職場改善—」についてお話しいただきました。講義では、少子化対策として誤解されやすいポイントを整理し、要因とともに本質を突く戦略について、受講者との対話形式で進行しました。五十嵐さんは「結婚・出産をなささい、ということでは決してない。若い人たちの希望が叶う社会を作り、環境を整えることが重要。」だと強調しました。結婚や出産に対する不安材料が払拭され、希望が持てる社会になることを願います。

11/12  
(火)



第7講目は「『陰陽道』とはどんなものか？—平安朝貴族の日記から探るその実態—」と題して陰陽道における占術である六壬占法による占断の実例を挙げながら解説していただきました。お話しいただいたのは、過去にも女性大学でご登壇歴のある藤女子大学文学部教授の名畑嘉則さん。講義では平安朝貴族の日記をいくつか取り上げながら、名畑さん手作りの大型六壬式盤を用いて考察を重ねました。天皇や公卿、貴族に頼られる存在だった陰陽師の姿が日記から垣間見ることができ、学びが深まる時間でした。

11/19  
(火)



寒さが厳しくなってきた第8講目は「人生100年時代の『食と未病対策』～認知症予防に向けた食生活を事例に～」というテーマで北海道情報大学医療情報学部教授の本間直幸さんをお招きしました。そもそも「未病」とはどのような状態を指すのか、またそれを改善するためにどのような取り組みが効果的なのかを導入部分で紹介いただき、後半では認知症予防のための「食」にフォーカスを当てて効果を期待できる食品・成分について解説していただきました。効果が期待できると聞くと、ついそればかり摂取したくなるのですが、何より食事はバランスが大事だと仰る本間さん。過剰に摂取するのではなく、今日学んだことを日頃の食生活の中で振り返りながら過ごしたいと思いました。

11/26  
(火)



残すところ2回となった第2期の女性大学は、世界でも注目度の高いアメリカ大統領選挙についてフォーカスを当て、その仕組みについて日本の選挙制度との違いにも触れながら解説していただきました。今回担当していただいたのは北海道大学公共政策大学院准教授の小浜祥子さん。講義では、大統領選挙を手がかりにアメリカという国について考え、今回の選挙結果を考察しました。アメリカの選挙制度は大変複雑で、それを解説するのは容易ではないことですが、質疑応答にも受講者の視線で分かりやすく丁寧ににお答えいただきました。

12/3  
(火)



最終回は、北海道新聞社論説主幹の蛭川隆介氏をお迎えし「現在（いま）を知る」をテーマに世の中の動きや出来事を読み解き考えました。前週の9講目では、アメリカの大統領選挙に焦点を当てましたが、今回は国内に目を向けて日本の衆議院議員選挙を振り返り、今後の政局と石破政権の行方について考えました。幾度に渡る挑戦の末に総裁選を勝ち取った石破さん。これまでの道のりやその人柄を新聞記者ならではの視点を交えながら解説していただきました。「お金のかからない政治」の実現へ向けて、石破政権は「政治とカネ」の問題を完全に清算できるのでしょうか。